


# みんなが幸せに 「信託」について知ろう

産業教育 金融  
産業教育 金融テキスト「信託」  
対象学年：小学校高学年

みんなが幸せに  
「信託」について知ろう

実は私たちの生活の中で、「信託」はいろいろあります。「信託」という言葉を聞いたことはありますか。「信託」について、このテキストで学んでいきましょう。



1 「信託」はとても身近だよ ..... 2  
2 託してくれた人の信頼にこたえ、  
思いをかなえる信託 ..... 4  
3 いろいろあるよ、信託は ..... 10

年 組 名前

産業教育研究会

岩田 貴典

## 主な発問・指示

## 指導上の留意点

## &lt;問7&gt;

信託のしくみについて、練習してみましょう。次の文章を読んで《信託のしくみの図》の①から④にあてはまる言葉を下の□の中から選んで書きましょう。  
加賀藩では、1614年のいくさで死んだ武士の供養を行うために信託のような方法がとられていました。

『加賀藩』『商人』『宝円寺』『100石』を「信託のしくみの図」に当てはめるとすると、どれがどこに当てはまるでしょうか。

- ・教師が問題文を読む。
- ・書けた子は教師に持ってこさせる。
- ・書けた子を指名し、発表させる。

## 3. いろいろあるよ、「信託」は

たとえば老後の生活の安定のため、子や孫の生活をサポートするため、社会に役立てるため、などのように信託もさまざまあります。しかも、信託することによって、財産を託した人がいなくなっても、その思いを続けることもできるのです。

## &lt;問8&gt;

信託について練習しましょう。次の信託で、お金を預ける人（委託者）、約束で決められたお金を受け取る人（受益者）はだれでしょう。

- ・教師が読む。

## &lt;問9&gt;

信託にはいろいろあります。次の場合において利用される信託のことを何と言うでしょうか。線で結びましょう。

- ・教師が問題文を読む。
- ・書けた子は教師に持ってこさせる。
- ・書けた子を指名し、発表させる。

他にもいろいろな信託があります。ぜひ調べてみましょう。

- ・教師が問題文を読む。
- ・指名し、どこどこを結んだか、確認する。

## 《指導にあたって》

- 問題文や説明の文は、適宜子どもたちに音読させる。その際、難語句があるので、教師が範読した後で子どもたちに読ませることが望ましい。
- 子どもたちの作業には時間差が生じる。そのために、次のような手立てをとり、時間差をうめるようにする。
  - ・早く終えた子に発表させる。
  - ・早く終えた子に読ませる。
  - ・早く終えた子に板書させる。
 また、発表させたり、板書させたりすることで、わからない子の参考にさせる。
- 答えを書かせたら、手を挙げさせたり、発表させたりして、確認をする。
- 「信託」は、子どもたちにとってなじみのない難しく感じられるものである。しかし、身近ないろいろな場面で利用できるのも「信託」である。そこで、今回は「信託」の基本原則を子どもたちに知らせたい。そのためにも教師が「信託」について、知っておきたい。  
一般社団法人信託協会の特設サイト (<https://www.shintaku-kyokai.or.jp/special/>) には、「信託ってなに？」というページがあり、初心者にも分かりやすくまとめられている。授業をする前にぜひ調べておきたい。

1. **対象学年**：小学校5・6年（1～2時間）
2. **ねらい**：信託がいろいろなことに利用されていることを知らせ、信託に対する関心をもたせる。
3. **進め方**：テキスト通りに進める。テキストの発問を読み、子ども達に答えさせていく形である。テキストを1枚ずつコピーして配布していく形で進めてもよい。

主な発問・指示	指導上の留意点
<p>《テキストの表紙より》            実は私たちの生活の中で、「信託」はいろいろあります。「信託」という言葉を聞いたことはありますか。「信託」について、このテキストで学んでいきましょう。</p> <p><b>1. 「信託」はとても身近だよ</b>  <b>身の回りにたくさんある「信託」</b></p> <p>「信託って、どんなこと？身の回りにあるの？」            「とても身近にあるのよ。次の例をみてみましょう！」</p> <p>ミケをどうする？            「今度の週末は、旅行だ！」            「あっ。猫の『ミケ』を連れて行くことはできない。どうしよう…。」            「誰か、僕たちのために大切な『ミケ』を世話してくれないかなあ。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト表紙を読み、今日勉強することを知らせる。</li> <li>・信託という言葉聞いたことのある児童がいるかを尋ねてもよい。</li> </ul>
<p><b>&lt;問1&gt;</b>            みなさんなら、ミケのことをどうしますか？下の□の中に書いてみましょう。</p> <p>あなたは、ミケを預けました。ペットショップにお金を払います。ミケは安心して預けられた期間を過ごせます。あなたや家族も安心して旅行に行けます。ペットショップもお金が入ります。みんなが幸せになれます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が問題文を読む。</li> <li>・書いた事を発表させる。</li> <li>・思いつかなかった子には発表された事を書いておくことを指示する。</li> </ul>
<p><b>&lt;問2&gt;</b>            □の中の文を声に出して読みましょう。また、うすい文字をなぞりましょう。</p> <p>あなたの大切なもの（財産）を、誰のために どうしてほしいか 目的を決め、信頼できる人 に渡します。            信じて託す、という意味から「信託」といいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が問題文を読む。</li> <li>・教師の後に続いて読むようにさせる。</li> </ul>
<p><b>&lt;問3&gt;</b>            左のことばの説明を右から選んで線で結びましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が問題文を読む。</li> <li>・指名し、どこどこを結んだか、確認する。</li> </ul>

主な発問・指示	指導上の留意点
<p><b>2. 託してくれた人の信頼にこたえ、思いをかなえる信託</b></p> <p>「もし、私の大切なものを誰かに託すとしたら、誰に、どうすればいいかな？」            「そういう人の信頼にこたえ、その思いをかなえようとがんばる 専門家がいるのですよ。」</p> <p>信じて託す「信託」のしくみ。あなたが、大切なものを、信頼できる人に託すことです。</p> <p><b>&lt;問4&gt;</b>            うすく書いてある文字をなぞりましょう。</p> <p>お金などの財産を託す人のことを委託者、信頼されてその人の大切な財産などを託される人のことを受託者といいます。そして、委託者であるお客さんからお金などの財産を預かり、守るまたは増やす銀行のことを信託銀行といいます。</p> <p>「信託銀行では、お客さんとの約束を守って、お客さんの思いをかなえ、信頼にこたえようとがんばって仕事をしています。」</p> <p>「いつかは、預けたお金などの財産を受け取る日が来るのよね。」            「もちろんです。約束で決められた日が来たときには、決められた人に財産を渡します。」            「お金などの財産を受けとる、約束で決められた人のことを 受益者 といいます。」            「受益者は、お金などの財産を託した自分自身でもいいし、託した人の家族など、別の人でもいいのよね。」</p> <p>お金など、受託者に渡す財産のことを 信託財産 といいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が吹き出しを読む。</li> <li>・教師が問題文を読む。</li> <li>・教師の後に続いて読むようにさせる。</li> <li>・ページが変わるので、教師が読んでいるせりふに指を指すようにする。</li> <li>・教師が読み、「受益者」「信託財産」を復唱させる。</li> </ul>
<p><b>&lt;問5&gt;</b>            信託銀行は、普通の銀行とどう違うのでしょうか。正しいと思うものに○をつけましょう。            ( ) ① 普通の銀行と同じ仕事しかしていない。            ( ) ② 信託の仕事だけをしている。            ( ) ③ 普通の銀行の仕事のほかに、信託の仕事などを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が問題文を読む。</li> <li>・○をつけた番号を発表させる。</li> <li>・同じ番号をつけた子は挙手させる。</li> </ul>
<p><b>&lt;問6&gt;</b>            2ページのミケを預ける時のことをまとめます。次の①から④にあてはまる言葉を下の□の中から選んで書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が問題文を読む。</li> <li>・書けた子は教師に持ってこさせる。</li> <li>・書けた子を指名し、発表させる。</li> </ul>